

TOM'S SPIRIT

スーパー耐久シリーズ 2017
岡山国際サーキット
2017年10月14日(土)

予選

天候:曇り



10月14日(土)に、今シーズンの最終戦となる第6戦の予選が岡山国際サーキットにて開催された。今大会は、再び2グループに分かれてのレースとなる。

- 前日の専有走行まではウェットコンディションからドライコンディションへと変わっていく中での走行となったが、予選時は、完全にドライコンディションでの走行となった。
- 今回の予選はドライバー変更を行い、Bドライバーに坪井選手を起用し、初の予選アタックを任せる事になった。
- Aドライバー松井選手、Bドライバー坪井選手共に、クラストップタイムをマークし、今シーズン4度目のポールポジションを獲得した。

ドライバー	車番	クラス順位	ベストタイム
松井孝允	86	1位	1'42.455
坪井 翔			1'42.193
蒲生尚弥			1'43.144



気温	19.7℃
路面温度	29.9℃



松井孝允【Aドライバー】

前日の練習からマシンのバランスは良く、予選でも気持ち良くアタックできました。5クラスのマシンがいて少しロスしましたが、坪井選手、蒲生選手と共にポールポジションを取れたので、明日の決勝も優勝して2017年を締めくりたいです。

坪井 翔【Bドライバー】

今回初めてBドライバーで予選アタックをさせてもらって、トラフィックを避けるのが大変でしたが、しっかりアタックしポールを取れたので役目を果たせて良かったです。決勝も優勝して、S耐参戦して全勝し気持ち良く終わりたいと思います。

蒲生尚弥【Cドライバー】

全てが上手く行きました。この調子で決勝も頑張ります。

三塚 隆【チーム代表/監督】

前日まで濡れた路面だったので不安な予選でしたが、今回は勉強の為に坪井選手で予選を行いました。松井選手、坪井選手共に、遅い車に引っかかり0.2~0.3秒位ロスしましたが、2人共トップタイムを出してポールが取れました。蒲生選手には、レースを想定しての走行、バランス確認をしてもらいました。

TOM'S SPiRiT

スーパー耐久シリーズ 2017
岡山国際サーキット
2017年10月15日(日)

決勝

天候:雨



- 朝8時35分からの決勝スタートは雨模様の為、セーフティカー先導によるスタートとなった。
- 2週のセーフティカー先導の後、3週目からレーススタートとなる。
- 今回、初めてスタートドライバーを任された坪井選手は、素晴らしいスタートを切り、1周で後続車を1秒以上離す。その後も2番手に大量のリードを重ね、折り返しの1時間30分辺り45週目に、蒲生選手にドライバー交代をする。
- しかし、その直後モスSでクラッシュ車両がありセーフティカーが導入されてしまう。このタイミングで他チームはドライバー交代を済ませる為、続々とピットインしてくる状況に。
- そこで蒲生選手を2周で呼び戻し、松井選手へドライバー交代する戦略に変更する。
- その後、前を走っていた13号車が最後のピットへ入るとトップに振り返り、そのまま今季5回目の優勝チェッカーを受けた。

ドライバー	車番	クラス順位	ベストタイム
松井孝允	86	1位	1'52.995
坪井 翔			1'52.760
蒲生尚弥			2'02.608

気温	19.1℃
路面温度	18.4℃



松井孝允【Aドライバー】

昨日の足廻りのトラブルを未然に防いで、決勝に向けて完璧な車を用意してくれたチームに感謝します。レースは坪井選手からスタートし、後ろを引き離してギャップを作ってくれましたが、SCにより蒲生選手もすぐにピットに入って2番手と近い所で走っていたので、最後までプッシュして走りました。2017年を良い形で締めくくって良かったです。本当にありがとうございました。

坪井 翔【Bドライバー】

初めてスタートドライバーをやらせてもらって、スタートの経験ができたと思いましたが、SCスタートになってしまったので少し残念でしたが、しっかりマージンを築けてバトンタッチをできたので、役目は果たせました。S耐全勝できて皆さんには、本当に感謝しています。

蒲生尚弥【Cドライバー】

このレースも皆ノーマスで走る事ができて良かったです。ありがとうございました。

三塚 隆【チーム代表/監督】

チーム全員がミスなく、勝つ為にプッシュできたと思います。有終の美を飾れて良かったです。1年間ありがとうございました。